

現代日本学社会分析研究演習 I / 現代日本学演習 III 「現代日本における社会問題の分析」

第5講 議論を組み立てる

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 厳密な思考と建設的な批判

1 課題1 意見交換

各自が作ってきた資料を見ながら、グループで意見交換する

- 5分程度で説明、そのあと意見交換
- 思いついたことはとりあえず口に出してみる
- この段階では、最終的なレポートの形や、厳密な理論展開や根拠については保留しておいてよい

2 課題2 問いと答えのリストを作成

現段階でのアイデアに基づいて、問いと答えの候補を、できる限りたくさん書く。

- ありうる質問
- 答えの予測
- 根拠として用意できる (探せばありそうな) 答えの候補
- 現段階で参照している文献・資料

箇条書きでもいいし、表のかたち (大島ほか, 2005) でもいい。

次回授業開始までに Google Classroom に提出

3 注意すべきポイント

概念と用語

- 定義と意味
- 実際の用法
- 当てはまるものと当てはまらないもの
- 他の概念との関連

論理

- 前提
- 必要条件と十分条件
- 逆や裏を考えてみる

データ

- 対象
- 測定と分析の方法
- 測定の妥当性・信頼性再現性
- 結果をどのように解釈するか
- どのように一般化できるか
- 直観と内省

推論

- 確率と統計的推測
- 場合わけは網羅的か
- 複数の推論の組み合わせ

価値判断

- さまざまな価値基準
- 一貫性

文献

大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂 (2005) 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現: プロセス重視のレポート作成』ひつじ書房.

佐藤望ほか (2012) 『アカデミック・スキルズ: 大学生のための知的技法入門』(第2版) 慶應義塾大学出版会.